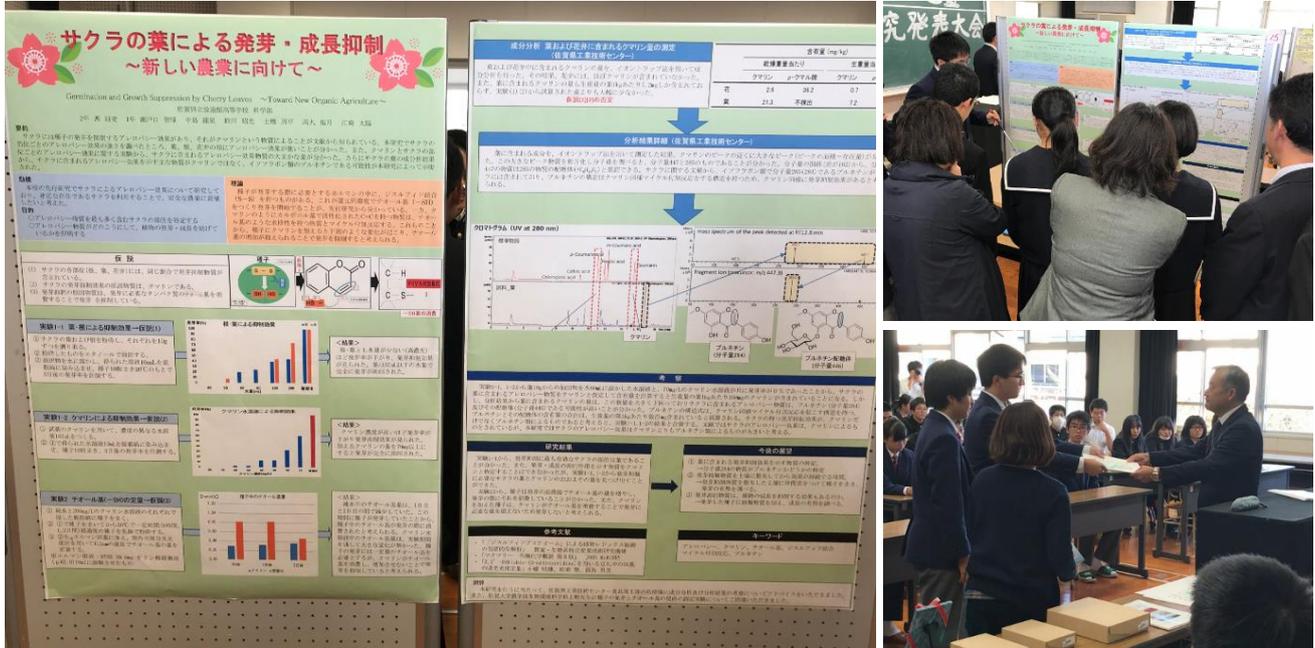




「第8回自然科学研究発表大会」で「優秀賞」を受賞しました



10月28日（日）に、「第8回佐賀県高文連自然科学研究発表会」が、致遠館高校を会場として開催されました。これは、佐賀県内の高校生が、自然科学に関する研究・観察について研究成果を発表する大会です。本校からは、サクラのアレロパシー物質について研究活動に取り組んでいる、科学部2年生の西耕史君、1年生の瀬戸口智暉君、中島龍星君、館川昭光君、土橋周平君、高丸佑月さん、江崎太陽君が参加し、「サクラの葉による発芽・成長抑制 ～新しい農業に向けて～」の研究発表で「優秀賞」を受賞しました。

科学部は、佐賀県代表として、平成31年2月開催の「平成30年度九州高等学校生徒理科研究発表大会」及び同年8月開催の「第43回全国高等学校総合文化祭自然科学部門」に出場が決定しました。今後の活躍にも期待します。

受賞者から一言

- 先輩方の努力をようやく形にできました。もっと多くの方から認められるように、精進します。
- この発表会で様々な発表を聞くことができ、各学校で工夫されているところを見ることができて良かったです。
- 今大会での経験を活かしてこれからも頑張ります。
- 高度な研究で理解するのに苦労したけど、協力して頑張りました。
- 多くの優秀な発表を聞くことができたのは、良い経験になりました。
- 発表の際には、聞き手が研究の面白さが分かるように聞き手の方を向きながら楽しく発表することがポイントだと分かりました。
- 今回、自分は表に立って発表をしなかったのですが、先輩の発表から学びしっかりとした発表ができるように努力したいと思います。